

全日本民医連 認知症懇話会ニュース

VOL.13 2019.9.5)
第9回認知症懇話会実行委員会
(岡山県民医連事務局)
Email:okayama@min-iren.gr.jp

全国から参加457名/153演題が岡山に

学び交流の2日間に



実行委員会も最終版。詰めの議論が続きます。

いよいよあと約3週間となった「第9回全日本民医連認知症懇話会in岡山」。全国からは多くの参加者申し込みが寄せられ、期待の声も届けられています。

ご本人・家族、共同組織も参加

懇話会成功に向けた取り組みも、いよいよ大詰め。事務局には連日参加申し込みが寄せられ、当初の予想を大きく上回る457名に達しました。

参加者には、日常業務で日々認知症に関わる職員のほか、認知症ご本人・家族、共同組織からも予定されています。事務局には「認知症ご本人のお話が聞けるので、楽しみにしています」「全国の演題を聞いて勉強したいです」といった期待も多く寄せられています。

「来てよかった」懇話会にしよう

全国から集まった演題は153。内容も認知症ご本人へのケア・治療や家族支援、在宅復帰、経済問題の解消、まちづくりなど、幅広い内容となっています。また、3名による本人座談会も、実行委員会との意



抄録集の表紙選びにも知恵を凝らします

見交換が順調に進み、認知症の方の率直な思いが聞ける内容になりそうです。

抄録集は9月中旬に参加者の事業所へ届けられる見込みです。また、オプション企画「岡山ひだまりの里病院見学ツアー」は定員に達し、申し込みをお断りしています。多数のお申込をありがとうございました。

全国から多くの参加者を迎える今回の懇話会。実行委員会では、参加者のみなさんが大いに学び交流し、「来てよかった」と思ってもらえるよう準備を進めています。みなさんのご参加を心よりお待ちしております。